

第10回 原型炉プラットフォーム会合
～コストとリスクの観点で見る核融合炉ブランケット開発課題～

原型炉プラットフォーム会合は、核融合炉実現に向けて研究開発の視野を拡げるだけでなく、コミュニティの裾野を拡げるための場として毎年開催しております。第10回となる今回の会合では、「コストとリスクの観点で見る核融合炉ブランケット開発課題」というテーマのもと、原型炉においてキーテクノロジーと考えられるブランケット技術開発に焦点をあて、現在のブランケット開発戦略を共有し、リスクおよびコストの観点に立って、ブランケット開発における優先技術課題を議論することを予定しております。ポスターセッションでは、参加者の方々が日々取り組まれている核融合エネルギー実現に向けた研究開発の現状と課題について議論を行います。

来たるべき原型炉時代を担う若手研究者・学生の積極的な参加をお待ちしております。

開催日程：

令和2年3月30日、31日（2日間）

開催場所：

量子科学技術研究開発機構 六ヶ所核融合研究所 計算機・遠隔実験棟

旅費について：

講演者及びポスター発表者には旅費を支給します。

宿泊について：

各自、三沢市内等のホテルを手配ください。

送迎について：

会合30日の昼は七戸十和田駅から、夕ならびに31日の朝は、三沢市内ホテルから六ヶ所核融合研究所までバスで送迎いたします。送迎バスはホテルルートイン三沢付近に配車します。

会議終了後の送迎は参加者の希望を把握した上で手配します。

ご講演方の発表資料：

ご講演資料（電子ファイル）を当日ご持参ください。

ポスター発表：

発表希望者には「原子力・核融合技術」「リスク・コスト」「製作技術」「核融合ブランケット」のキーワードに関する成果、今回の会合趣旨に関する見解の発表をお願いします。発表資料はご持参ください。（ポスターサイズ：A0縦）

参加をご希望される方は、2月14日(金)まで、別添の参加申込書を下記宛先までお送りください。

申込先:

量子科学技術研究開発機構 六ヶ所核融合研究所
事務局 (demo_platform@qst.go.jp)

幹事:

量子科学技術研究開発機構 六ヶ所核融合研究所
谷川博康、日渡良爾、宇藤裕康

第10回 原型炉プラットフォーム会合

～コストとリスクの観点で見る核融合炉ブランケット開発課題～

開催日時：

令和2年3月30日（月）～31日（火）

開催会場：

量子科学技術研究開発機構 六ヶ所核融合研究所 計算機・遠隔実験棟

議事次第：

3月30日（月）

- | | | |
|-------------|-------------------------------|------------|
| 13:20～13:25 | 開会の挨拶 | 池田佳隆（QST） |
| 13:25～13:35 | 趣旨説明 | 谷川博康（QST） |
| 13:35～14:05 | ブランケット目標コスト（仮） | 後藤拓也（NIFS） |
| 14:05～14:45 | 原型炉ブランケット設計検討の現状と課題（仮） | 染谷洋二（QST） |
| 14:45～15:25 | ITER-TBM 開発の現状と原型炉に向けた技術課題（仮） | 河村繕範（QST） |
| | （写真撮影・休憩・ポスター貼付） | |
| 15:40～16:30 | 原子力機器における安全評価課題（仮題） | 古谷正裕（早稲田大） |
| 16:30～17:30 | ポスターセッション | |

(19:00～ 懇親会)

3月31日（火）

- | | | |
|-------------|-------------------------|-----------------|
| 9:10～10:00 | 原子力用鋼およびステンレス鋼の溶接技術 | 安田功一（JEF 核リサーチ） |
| 10:00～10:40 | メーカーから見たブランケット関連技術課題（仮） | 小田泰嗣（MHI） |
| 10:55～12:00 | 総合討論 | |
| 12:00 | 閉会 | |
| | （昼食休憩） | |

(13:00～14:30 六ヶ所核融合研究所 見学ツアー)